



第419号 平成25年6月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

TEL (075) 256-0351

FAX (075) 241-3568

発行人 奥村正治

第64回指定都市学校保健協議会が神戸で開かれる

会長 奥村正治

5月26日(日)に神戸市看護大学にて1日を使って協議会が開かれた。北は北海道の札幌市、南は九州の熊本県の熊本市と全国に指定都市は広がりました。東京は都の為か入っておりません。20都市になります。会場の神戸市看護大学は、神戸の震災後建てられたとお聞きしました。神戸市の北西地区に位置し、新しく開発されたニュータウンの中(学園都市)にあります。校内は広々と緑の多い「これが看護大学？」と言うような景色でした。(失礼な表現で申しわけありません。)

午前9時半より開会式、10時より全体協議、少しの休憩をはさんで記念講演でした。昼食後、3時間に渡り、課題別協議会が行なわれ、最後は閉会式です。来年度は5月25日に横浜市が当番という事になっております。

課題別協議は、第1分科会は健康教育、第2は保健管理、第3は心の健康、第4は地域保健に別れ、それぞれ5題ずつの課題が協議されました。各都市から課題は出され、我が京都市からは、第3分科会〔心の健康〕にて、「学校体制で進めていく心の健康教育～CSS(クラスソーシャルスケル)を取り入れて～」と題して京都市立室町小学校 保健主事 佐々木むつみ先生と養護教諭 稲葉章江先生の発表でした。

分科会等にご参加の先生方に御報告をいただく予定にしておりますので、以降の文を御参照下さい。

午前中の記念講演は、ラグビーをあまり知らない方でも御存知でないかと思いますが、京都市立伏見工業高校にてラグビーを始められ、全日本高校代表として海外遠征を経験し、大学は同志社に進み、近畿の方ならよく御存知でしょう。神戸製鋼にて日本選手権7連覇をやりとげ、ここまで書いたら ああ、

あの人か!!大八木淳史氏の話してであった。

現在は神戸市のお隣の芦屋市にある芦屋学園中学校・高等学校の校長先生である。大阪で話題になったスポーツの体罰についても教師像を恩師の伏見工業高校の泣き虫先生 山口良治先生を例に取り、関西弁まる出しで熱く語られた。監督や教師は、言葉をかみくだいて、本人が納得する様に話しかける事が大切と!!私には、心にひびく言葉を発するように!!に聞き取れました。子育ての重要な一面であろう。

この26日(日)の前日に、神戸市医師会が主催する学校医だけの研修会が開かれた。言い方をかえると26日(日)は教育委員会が中心になり、前日の25日(土)は医師会が中心になり、それぞれの立場での研修会が開催されたという事になります。

25日(土)には新幹線の新神戸駅をおりて直ぐのANAクラウンプラザホテルで午後4時より開催された。数年ぶりに(10年ぐらい間があったかも知れませんが)2部構成で研修となった。1部は内科学学校医・耳鼻咽喉科学学校医・眼科学学校医に分かれ、「学校での食物アレルギー対応」「学校健診における言語異常検診法について」「みんなで守ろうこどもの目」の課題であった。2部は全員が集合し、「成長期スポーツ障害への対応」と言う事で、元Jリーグガンバ大阪のチームドクター柳田博美先生の「スポーツ障害はなぜ起こる、その対応はどうする」と言う話をわかりやすく教えていただいた。私事ですが、この時の座長が大学の同級生でひさしぶりに会いました。

今回、内科学学校医には「神戸市児童生徒等アレルギー疾患対応マニュアル」という神戸市教育委員会と神戸市医師会の勸修の小冊子もいただきました。ご覧になりたい方は学校医会事務所に置いております。お声をかけて下さい。

第64回 指定都市学校保健協議会 課題別協議題

第1分科会（健康教育）

副会長 林 鐘 声

自らの生活における健康課題を把握し、改善し実践できる資質や能力を育てる健康教育のあり方を協議するとして、養護教諭から2題、学校歯科医から2題、学校薬剤師から1題の提言がありました。

- No.1 ふれあい・潤い・自己表現
すすんで健康生活の向上を図ることができる児童の育成
- No.2 学校薬剤師がゲストティーチャーとして参加する「くすりの教育」の実践例
- No.3 「私の歯・口腔を知ろう」
一子どもが歯・口腔状態を知り、健康の保持増進につなげるための学校と学校歯科医の取組
- No.4 平成24年度 学校保健優良校審査会にみる体験活動
- No.5 メディアコントロールで見直す生活習慣
さいたま市と岡山市の養護教諭からは、ともに、

ノーテレビ、ノーゲームを提言の中に挙げていたのは、興味を引くものでした。自治体が進める中での取組みで、保育園・幼稚園が先行して小中学校へ、その運動が波及してきたようでした。今後、この運動の成果の評価報告がでてくると思います。

メディアコントロールという言葉が提言にでてきます。その意味するところは、電子映像メディアに接する時間を自分でコントロールして生活習慣の見直しや改善を図ることをめざすということです。会場でこの言葉を聞いた時は、和製英語のようで、とても異和感がありました。まして、新聞・雑誌などの活字媒体のメディアを含んでいないことも奇異でした。しかし、文科省から発信されている言葉のようですから、今後、よく目にするようになるのかも知れません。

第3分科会 【心の健康】に参加して

西京高等学校 杉本英造

協議題：心の健康づくりをめざす組織体制と支援のあり方

主旨：多様化してきた精神の健康について、心の健康づくりを推進するための組織体制や支援のあり方について協議する

協議の視点：○ 豊かな心を育てる医療機関・学校・家庭・地域の連携のあり方
○ 心の健康問題を早期発見・早期解決するための支援体制づくり
○ 学校や医療機関と連携した虐待防止の環境づくりの推進

1. 本校における不応適生徒への支援のあり方
(仙台市)
2. 児童虐待の現状と課題について
～学校歯科医としてどうかかわるか～ (横浜市)
3. 学校体制で進めていく心の健康教育
～CSS(クラスソーシャルスキル)を取り入れて～
(京都市)
4. 健康の保持促進のための実践力を高め、生きる力を育む保健教育 ～大阪市小学校教育研究会保健部の取り組み～
(大阪市)
5. 自分と向き合い、自分を大切に「心の健康」

の授業実践について ～最も身近な大人である家族からの手紙を通して～ (神戸市)

演題1は不応適生徒に対しスクールカウンセラー・教員がチームを作り取り組むことにより実績をあげた報告でしたが、発達障害等が関係すると困難事例となります。チームに学校医は参加しておらず、フロアからも「学校医になぜ相談しないのか？」との質問がありました。学校と学校医の敷居問題はいづこも同じなのでしょう？

演題2は、以前、京都の歯科医師会からも報告があった問題ですが、歯の外傷や虫歯の放置からわかる虐待問題。政令指定都市間では、横浜市・大阪市・川崎市・名古屋市・さいたま市がベスト5。通告したあとのケアをどうするかが議論の中心でした。演題3は自尊心・自己肯定感を高めるための努力。演題4は心身の健康・活力ある生活を送るために自身で判断・解決・実践していく力を育てるための取り組み。演題5は「心の健康」に家族と連携することの効果について。「心の健康」についての様々な取り組みを知ることができ有意義でしたが、学校医はどのように関与すればよいのか宿題をいただきました。

第2分科会に参加して

今熊野小学校 長 村 吉 朗

5月26日神戸市において開催されました第64回指定都市学校保健協議会の第2分科会の概要につき報告をいたします。

第2分科会では、以下の報告が行われました。札幌市立手稲中学校 養護教諭 山本奈保子「学校環境衛生活動の取り組みについて～学校における化学物質による健康被害発生時の対応～」。相模原市立大野北小学校 養護教諭 柳沢美樹「自分の体は自分で守ろう！（つくろう！）をより現実にも」。新潟市医師会 学校医 大滝一「新潟市の耳鼻咽喉科学校健診の現状と課題」。浜松市立引佐北部小中学校 養護教諭 秋定宏子「心豊かでたくましい子の育成をめざした小中一貫校の保健管理のあり方」。広

島市立古市小学校（前大林小学校）養護教諭 岡本浩香「保健管理の充実をめざした保健室経営～生活習慣の実態把握を生かした取り組みから～」の5演題でしたが、その中でも記憶に残りましたのは3演題目の耳鼻科健診に関する発表でした。新潟市は平成17年に市町村合併が行われ日本海側初の政令指定都市となったわけですが、合併された地区では未だに耳鼻科健診は重点健診と呼ばれる健診が行われており、中学では1年生のみの健診となっていることに驚かされました。

なお、これらの資料は学校医会事務局に御座いますので必要な先生方は遠慮なくご連絡下さい。

第4分科会「地域保健」報告

専務理事 井 本 雅 美

第4分科会では「学校・家庭・地域の連携で進める学校保健活動」というテーマで発表と協議が行われました。

○ 主旨：子どもたちの健康課題に適切に対処するための学校・家庭・地域の協力連携のあり方と組織的な学校保健活動について協議する。

○ 協議の視点：

- 1) 学校、家庭、地域の連携による保健活動のあり方
- 2) 子どもや保護者の健康意識を向上させる学校保健活動の取組
- 3) 地域の関係機関と連携した安全教育の充実

○ 口頭提言題及び提言者

No.1 かかわり合いを大切にしたら育て
－食育を通して－

千葉市立稲丘小学校 学校栄養職員 田邊 恵美
No.2 保健室から発信する緊急時の対応
危機意識を高める手だて

静岡市立足久保小学校 養護教諭 杉山 千賀子
No.3 学校・家庭・地域の連携で進める学校保健活動

名古屋市立上社小学校 学校医 高柳 泰世 他
No.4 健康な生活を営む資質や能力を身につけた子どもを求めて

－学校薬剤師と連携できる体験的活動を取り入れた学習過程の工夫を通して－

福岡市立千早小学校 教諭 田中 盛幸
No.5 歯磨きから始まる歯と口の健康作り
熊本市立東町小学校 学校歯科医 井出 裕二

No.1では、人（友達、教師、保護者など）とのかわり、食べ物とのかわり（実物の野菜に触れたり栽培したりして学ぶ）を通して、食に関する意識を高める学習について発表されました。

No.2では、危険予知トレーニングシートを用いた危機意識を高める取組みや、危険箇所や避難場所を実際に確認して防災意識を高める取組み、さらに中学生を中心として自分で自分を守るとともに周りを助ける力になるようとする取組みなどが発表されました。

No.3は主に色覚検査についての内容であり、地域（教育委員等）との連携で定期健診から色覚検査を削除した経緯、並びに事後措置のできる検査の開発についてなどが発表されました。

No.4では、学校薬剤師との連携で、飲酒や喫煙の体への影響や薬物を勧められた時の断り方のロールプレイング学習などについて発表されました。

新任校医挨拶



福田 佳三
(百々小学校)

なりました。

東京慈恵会医科大学卒業後、関東の病院で診療をしていましたが地元の地域医療に貢献したいと思い平成20年3月より山科でふくだ耳鼻咽喉科クリニックを開業しています。

産業医としては以前より複数の企業を担当していますが学校医としての経験がありません。

父が長年学校医をしておりいろいろと教わっていますが、だまだ未熟でありますので医師会の皆様の御指導、御鞭撻の程よろしく願いいたします。



中林 佳信
(鞍馬小学校)

平成25年4月より鞍馬小学校の校医をさせていただくことになりました。私は平成7年に京都府立医科大学を卒業し京都府立医科大学附属病院 小児科に入局いたしました。以後、京都市立病院、明石市民病院、京都第一赤十字病院などを経て平成24年10月に岩倉幡枝町でこどもクリニックを開業いたしました。校医は初めての経験ではありますが、教職員の皆様方と連携し、微力ではありますが学校保健、地域医療に貢献出来るよう努力していきたいと思っております。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしく願い申し上げます。

矢野 豊 (醍醐西小学校)

平成25年4月より醍醐西小学校の校医をさせていただきます矢野 豊と申します。

昨年5月に伏見区醍醐で開業し少しでも地域医療に貢献できればと考えております。

普段は成人の方の診察が主であり、慣れない点多くあると思っておりますが、諸先輩方のご指導を仰ぎ子供たちの健やかな成長を見守ればと思っております。何卒よろしく願い申し上げます。



伊地智 俊晴
(松ヶ崎小学校)

平成25年4月より、ご縁がありまして松ヶ崎小学校の学校医に就任致しました伊地智と申します。

私は23年間の勤務医生活の後、平成19年より左京区にて内科・神経内科医院を開業しています。学校医は初めての不安はあるのですが、将来を担う子供たちの健康に少しでも関わっていけると考えると楽しみでもあります。ただ、今の私は小児の特性や疾患についての知識と理解が不足しています。まずはその辺りから勉強していきたいと考えています。

先輩学校医の先生方のご指導を仰ぎ、学校の先生方と連携を図って職務を行っていきたく思います。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。



山本 恵祥
(洛中小学校)

平成25年4月より校医を拝命致しました山本恵祥です。

現在「中医漢方」を主に、内科小児科を開業致して居ります。

4月18日「初めてのお遣い」ならぬ「初めての健診」を終えましたが、養護教諭の志村先生の周到なる御用意と的確な生徒誘導もあり、予想に反して迅速かつ滞り無くこなす事が出来ました。

健診後、出入口が1ヶ所でも施錠されている事、自分達の頃に比べ子供達が随分大人びている印象を受けた事など、昨今の教育現場を取巻く諸問題の一端を垣間見た思いがしました。

固より私は非才浅学の身ではありますが、拝命した以上は、前任者の坂井先生、教育現場の諸先生方、並びに学校医会の諸先輩先生方のご指導の宜敷きを得て真摯に職務に対応してゆきたいと存ずる次第です。

今後共皆様の御指導を賜ります様お願い申し上げます。



福島 豊
(砂川小学校)

平成25年4月より砂川小学校の校医を務めさせていただくことと

なりました。

昭和58年に京都大学医学部を卒業。平成23年9月より伏見区深草で内科医院を開業いたしております。地域の小学校の校医を拝命し、初めての経験に緊張しておりますが、少しでも学校と地域の皆様のお役にたてるよう努力してまいる所存です。何かと行き届かぬ点があろうかと思いますが、先輩の諸先生方にはご指導賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



横江 信義
(淳風小学校)

桧垣要先生の定年退職の後を受けて、平成25年4月より淳風小学

校の校医をさせて頂く事になりました。私立高校の校医は30年以上勤めていますが、公立の小学校は初めてです。これまでの経験が少しでもお役に立てるように努力いたします。私もこの小学校の卒業生で、後援会や自治連合会の方々とも深く面識がありますし、生徒の健康管理のみならず、広く地域の健康増進に努めたいと考えています。微力ながら子供たちの健康の助けとなる様頑張っていく所存です。今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



三嶋 隆之
(修学院小学校)

このたび、平成25年4月より修学院小学校の校医をさせていただ

くことになりました三嶋隆之と申します。修学院小学校は私の母校であり、父が校医をしていた学校でもあります。今まで小児の学校保健に関する経験はなく、不安ではありますが少しでも母校に恩返しできればと思っております。

これから勉強していかなければならないことが多

く、今後とも諸先輩方にはご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



栗原 裕祐
(向島東中学校)

この度、向島東中学校の校医を務めさせて頂くことになりました。

平成25年4月、32年間近鉄向島駅前で義父が診療を続けて参りました「末木医院」を継承し、「くわはらクリニック」を開院致しました。診療科は内科、小児科、アレルギー科、リウマチ科です。

平成13年に大阪大学を卒業し、免疫アレルギー内科において強皮症に関する研究で学位を取得しました。その後、小児、アレルギー分野の診療にも携わり、現在は子供からお年寄りまで、幅広い層の患者さんの診療にあっております。

学校関係の方々とも協力しながら、学校保健の充実に少しでもお役に立ちたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



岸 陽
(西京高校附属中学校)

平成25年4月より西京高校附属中学校の校医をさせていただ

いております岸 陽と申します。現在、御池クリニックという健診医療機関で、成人の健診・人間ドックに携わっておりますが、校医業務は初めてですので、戸惑うことが多いですが、少しでも学校保健のお役に立てるよう、研鑽して参ります。先日、本年度の定期健康診断を行いました。中学生たちを診察しながら（聴診器で耳が痛くなりましたが）、子供たちの健康維持・増進に関わる責任を改めて実感いたしました。

学校医会の諸先生方には、ご教授いただくことも多くあると存じます。ご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

檜 垣 由起子 (塔南高等学校)

平成25年4月より塔南高等学校の校医をさせていただくことになりました。

4月の健康診断では、自身の高校時代を懐かしく思い出しましたが、バセドウ病に罹患した同級生、摂食障害となった同級生のことも思い起こされ、高校生の健康管理の重要性を改めて感じました。最終

日にはプロテスタント系女子校である母校からの同窓会便りが届き、不思議な御縁を感じました。中高を過ごした母校には卒業生の多くが愛着を感じていますが、塔南高等学校生の方々にも将来、若き日々を懐かしく思う日が来ることでしょう。彼らが健康を保ち、良き思い出をはぐくむ一助となれば幸いです。

至らぬ点多々ありますが、皆様方には御指導、御鞭撻の程、よろしく願いいたします。

第2回 常任理事会

平成25年6月1日
於 事務局

出席者 奥村会長、林副会長、井本専務理事、東道常任理事、佐野眼科学校医会副会長、鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事、長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 京都市学校保健会 第1回常務委員会 5/21
於：京都市総合教育センター
2. 心臓相談 5/22 小1女兒 QT延長
(水中心電図)
3. 第64回 指定都市学校保健協議会内科・眼科・耳鼻咽喉科各科校医研修会、合同研修会、懇親会 5/25 神戸市
於：ANAクラウンプラザホテル神戸
4. 第64回 指定都市学校保健協議会 5/26 神戸市 於：神戸市看護大学
5. 色覚相談 5/28 1名
6. 平成24年度 麻疹風しん接種率について
7. 皮膚の学校感染症について：プール可否について確認
8. その他

<協議事項>

1. ツベルクリン反応検査出務医について：出務医決定
2. 市教委との懇談会での協議事項について
3. 校園長会との懇談会での協議事項について
4. 全理事会について 8/3
5. 会誌について
6. 第35回 近畿学校保健連絡協議会について 7/25 神戸市
7. 酒井晃先生 叙勲祝賀会について 9/23
8. その他

- ・スポーツ大会への学校医同行について
- ・学校から校医への電話連絡について
- ・学校検尿の項目と判定について

<関連学会・各種協議>

1. アレルギー相談 6/4
2. 第30回 京都府歯科保健文化賞 6/9
於：みやこめっせ
3. 精神衛生研究会 6/13
4. 腎臓相談 6/18, 7/2, 7/9
5. ツベルクリン反応検査 接種6/17, 判定6/19 から7会場
6. 校園長会との懇談会 7/6 於：木乃婦
7. 市教委との懇談会 7/20 於：右源太
8. 第3回 常任理事会 7/6 14:00~
9. 南支部会 7/6 18:00~
10. その他